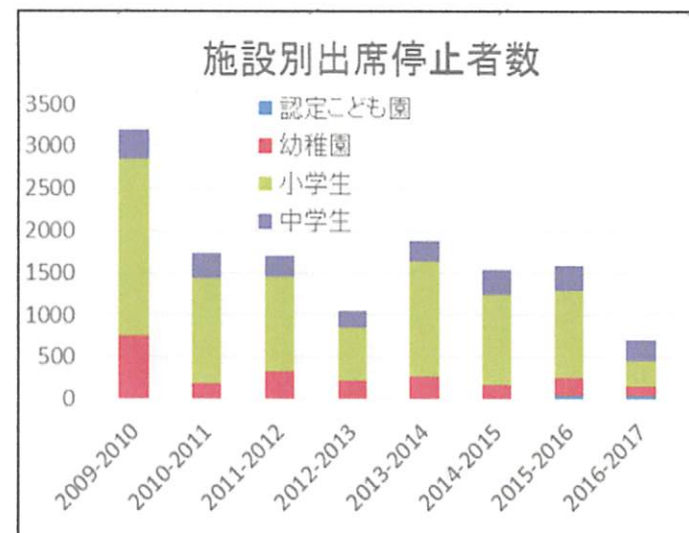
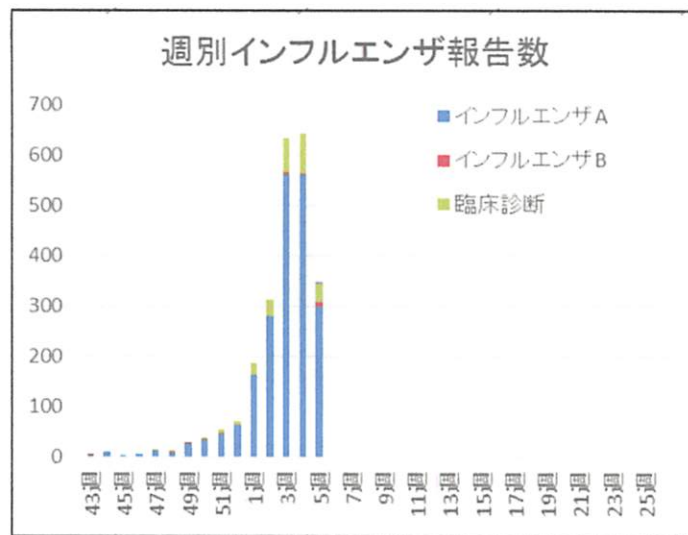


週間感染症情報

2017年4週 2017年1月23日より1月29日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	
ムンプス(おたふくかぜ)	4
百日咳	
溶連菌感染症	9
手足口病	2
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	46
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	3
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	
RSウイルス感染症	1
マイコプラズマ感染症	5
インフルエンザ(臨床診断含む)	642
インフルエンザA	560
インフルエンザB	3
A+B	

インフルエンザの報告は続いています。第4週は642例と第3週の633例を超えてピークとなりました。東中の流行は終息し、総社中で20%を超える出席停止者がでています。東中学区に位置する当院では中学生の患者は減少し、小児科外来はヒマでしたが、週の後半になり、小学生や保育園児の患者が増えてきました。教育委員会の出席停止者数の報告をみても、例年に比べ小学生の報告数が少なく、インフルエンザ患者の少なかった施設では、今後の流行が懸念されます。インフルエンザはクラス単位で流行します。しかし、部活やクラブ・学童保育土曜保育など異年齢集団では、広範囲にウイルスが拡がり大きな流行となっていきます。2月中は、しっかり予防対策を続けてるとともに、体調不良の場合は無理をせず休むように努めて下さい。最近、発熱と同時に受診する方が増えました。ある程度ウイルスの数が増えないと検査で陽性になりません。家族・クラス・職場など周囲に患者がおり、同様の症状であれば、医師は、検査をせずにインフルエンザと診断して、抗インフルエンザ薬(タミフル)などを処方することがあります。もちろん、軽症であれば薬を使用する必要はなく、自宅でゆっくり静養して下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)